

## 防災・減災、国土強靱化計画で注目の交通ネットワーク・ライフラインのメンテナンス 老朽化インフラの維持補修における、道路工事の安全確保へ ～交通誘導員が不足する今、現場の車両衝突事故防止と誘導員の安全は？～

国は、2021年度から「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策<sup>i</sup>」を掲げ、全国で急増する「社会インフラの老朽化<sup>ii</sup>」対策を進めています。

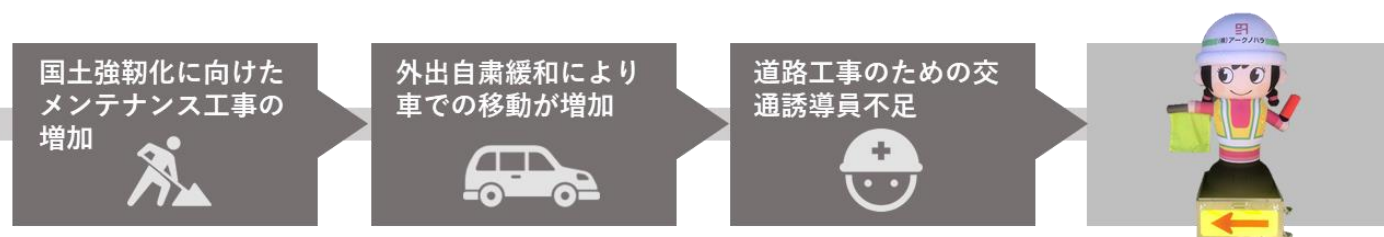
急務である交通ネットワーク・ライフラインの維持や、予防保全型インフラメンテナンスの必要性を背景に、2023年3月に建設後50年以上経過する道路橋(老朽化インフラ全体のうち約39%を占める)の維持補修工事は、全国的に絶えず実施されることが予想されます。また、今後、新型コロナウイルス感染症の感染対策としての外出自粛が緩和され、車での移動が増加すれば<sup>iii</sup>、道路インフラは更に劣化していき、メンテナンスのための工事が必要となります。

一方で、土木業界では、道路工事のための交通誘導員の不足が顕著になっています<sup>iv</sup>。また、神奈川県内の建設現場では2021年度には7月と10月、交通誘導中の警備員が一般車両に激突されて死傷する労働災害が発生しています。

2022年9月30日は、「交通事故死ゼロを目指す日」<sup>v</sup>です。

道路標識や視線誘導標などの安全施設製品を手掛ける野原グループ内企業「株式会社アークノハラ」は、これらの社会課題を解決するため、「工事現場用人型エアバルーン エアー誘導くん・エアー誘導ちゃん」を展開しています。

本号では、交通誘導員の死亡事故ゼロに向けた製品として全国の採用実績が増えている「エアー誘導くん・エアー誘導ちゃん」<sup>vi</sup>を徹底解剖します。



### 全国の道路で見かける「エアー誘導くん・エアー誘導ちゃん」

「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」は、道路工事現場の周辺に対して注意喚起を行う、空気注入式誘導標示装置です。

エアバルーン型の誘導くん、誘導ちゃんは、見た目は愛らしいですが、身長は約1.6mと大型で、高輝度LED内蔵で本体がライトアップされるため昼間も夜間もとても見えやすく目立ちます。



■左：エアー誘導くん、右：エアー誘導ちゃん

● 「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」のプロフィール

名前	「エアー誘導くん」 「エアー誘導ちゃん」
身長	約 160 センチメートル ※200 センチメートルのときも
体重	約 30 キログラム
横幅	107 センチメートル
チャームポイント	①マルっとしたフォルム ②かわいらしい表情
特技	①3秒で膨らむよ ②夜になるとキラキラ目立つよ ③エアー式で柔らかいので、万が一工事箇所へ車両が進入した場合でも車、ドライバーと同乗者、工事作業員への被害が少ないよ
その他	①持ち運びが簡単だよ ②ポリエステル素材でできているよ ③実は、足にキャスターがついてるよ



「エアー誘導くん・エアー誘導ちゃん」 どうしてそんなにかわいいの？

「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」は、道路工事現場にはなかなか居そうにない、「かわいい！」存在です。

なぜ、工事現場で「かわいい」を追求したのか？

私たちは、この“かわいさ”に次のような想いを込めています。

★周辺住民の方や子供たちに親しみをもって頂きたい

従来製品は、硬く重量のある素材、繊維強化プラスチック(以下、FRP)で作られており、交通誘導員のリアリティを追求した人型の規制ロボットが一般的でした。リアルさを追求するあまり、表情が硬く、夜道でライトに照らされて現れた姿を見て少し怖い気持ちになった方もいるかも。私たちは、**周辺住民や子供たちにとって、道路工事現場が怖いものではなく、親しみやすいものであってほしい**と考え、かわいらしい「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」を思いつきました。

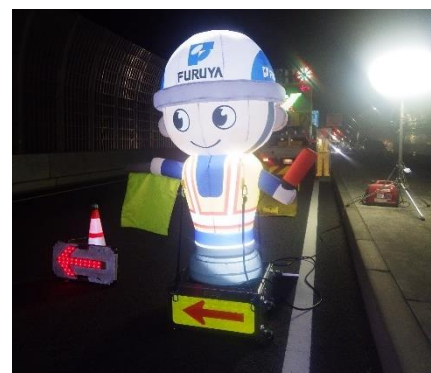
★道路工事現場の事故を減らしたい

道路補修工事の多くは、交通規制が必要になります。

実は、従来製品は、1970年代に交通誘導員が車にはねられる事故が多発したことにより導入が始まったと言われています。

「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」は、発売当初の2018年には、製品幅が750mm程度でしたが、より遠くからでも見えやすいよう107センチメートルに変更しました。

その結果、今の、大きくマルっとした、かわいいフォルムのボディになり、**ドライバーからの視認性向上**につながりました。



■実際の道路に設置した様子  
(古谷建設株式会社 様の事例)

## 社会の役に立ちたい「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」

日々、私たちの生活を支えてくれている道路インフラ。しかし、2023年3月に建設後50年以上経過する、老朽化した道路橋が多いのが現状です。

「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」は、交通誘導員の代わりにはなりません。しかし、**道路インフラのメンテナンス工事において、道路工事現場を車両衝突事故から守り、交通誘導員の安全・安心を守るために活躍できます。**

大型でLEDを内蔵しているため、昼間～夜間にかけて規制区間を目立たせることができます。規制区間の存在をドライバーに認識させることで、**工事現場に車両が衝突することを低減**します。

アークノハラは、周辺住民、ドライバーに愛される「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」を全国に拡販していき、道路空間を明るく・安全なものにしたいと考えています。

### ★「エアー誘導くん」「エアー誘導ちゃん」が役立ちたいと思っていること

1. 国土強靱化に向けた道路工事における規制もらい事故の低減  
(危険を伴う工事現場の交通誘導、現場を目立たせより安全な環境づくり)
2. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策としての、車移動増加による道路メンテナンス工事の円滑な実施  
(土木業界では、交通誘導員不足が大きな課題となっています。私たちは、「交通誘導員が足りないために工事ができない」事態を避けたいと考えています。)
3. 道路工事現場・施工会社のイメージアップ  
(デザインをカスタマイズできます。詳細は別紙をご参照ください)



■デザインをカスタムした「無電柱化くん」

### 【「エアー誘導くん・エアー誘導ちゃん」をもっと知りたい方へ】

問い合わせ先：株式会社アークノハラ スペック推進室

電話：03-3357-2442

製品 HP：[https://arc-nohara.co.jp/products/safety/air-yudokun\\_air-yudochan.html](https://arc-nohara.co.jp/products/safety/air-yudokun_air-yudochan.html)

※HPでは、設置方法の動画も公開しています。

“私たちを見つけたら、是非HPでお声をお寄せください！”



■ご覧いただきありがとうございます。

## 株式会社アークノハラについて

株式会社アークノハラは、野原ホールディングスをはじめとする野原グループ内企業です。

「安心」「安全」「快適」な街づくりを合い言葉に、道路標識や視線誘導標、歩行者用観光案内標識などのサイン、ガードレール・遮音壁などの安全施設製品について、設計～製造～施工の一環したネットワークを構築してまいりました。これからも交通事業の発展及び環境整備の拡充と、安心安全な街づくりに貢献してまいります。

<https://arc-nohara.co.jp/>

【発行元】

野原ホールディングス株式会社

マーケティング部(担当：齋藤) / e-mail : [nhrpreso@nohara-inc.co.jp](mailto:nhrpreso@nohara-inc.co.jp)

- 
- i 国土強靱化、防災・減災の取組みは、国家のリスクマネジメントとして、強くしなやかな国をつくることを目的としています。2021年度から2025年度までの5か年に重点的かつ集中的に対策を講ずることとしています。(内閣官房「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」  
[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo\\_kyoujinka/5kanenkasokuka/index.html](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/5kanenkasokuka/index.html))
  - ii 国土交通省は、2023年3月に建設後50年以上経過する社会資本の割合として、道路橋約39%、トンネル約27%、河川管理施設(水門等)約42%と発表しています。(国土交通省「社会資本の老朽化の現状と将来」  
[https://xn--mlit-uk4c8kye4c.go.jp/sogoseisaku/maintenance/02research/02\\_01.html](https://xn--mlit-uk4c8kye4c.go.jp/sogoseisaku/maintenance/02research/02_01.html))
  - iii JAF(一般社団法人日本自動車連盟)は、2020年11月13日(金)~12月31日(木)まで実施していたコロナ禍における意識調査「ドライブに関するアンケート調査」を実施し、92.4%の方が「クルマ移動は感染対策へのメリットがある」と考えていることが明らかとなっています。<https://jaf.or.jp/common/news/2021/20210315-002>
  - iv 夕刊東京新聞によれば、2017年9月~11月に警察庁が民間の警備業者485社に実施。交通誘導警備では96.5%の会社が人手不足を感じていると回答しました。
  - v 「交通事故死ゼロを目指す日」は、2008年、政府が、国民の交通安全に対する意識の向上、一人ひとりが注意した行動により交通事故の発生を抑制、交通事故死傷者数の減少を目指す目的で制定しました。(内閣府「交通事故死ゼロを目指す日」<https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/zero/zero.html>)
  - vi 全国で、「エアータウン」の実績は全国で50体以上になりました。